

コロナ禍における帰国の流れ

トロント10月9日(金)発
成田空港10月10日(土)着

※本資料は搭乗時点での個人の体験／感想をまとめており、
無断転載・転送はご遠慮ください。
帰国に際しては、必ず政府機関の最新情報をご確認ください。

マツダ(株)人事本部
(マツダカナダから帰任)
原 由梨子

2020年10月16日

日本帰国後のプロセス(成田空港)

- 検査の種類は、待機時間の短い抗原検査
例) 夕方4時到着→当日夕方6時～7時には結果受領
- 結果が陰性でも、隔離前の公共交通機関の利用は不可

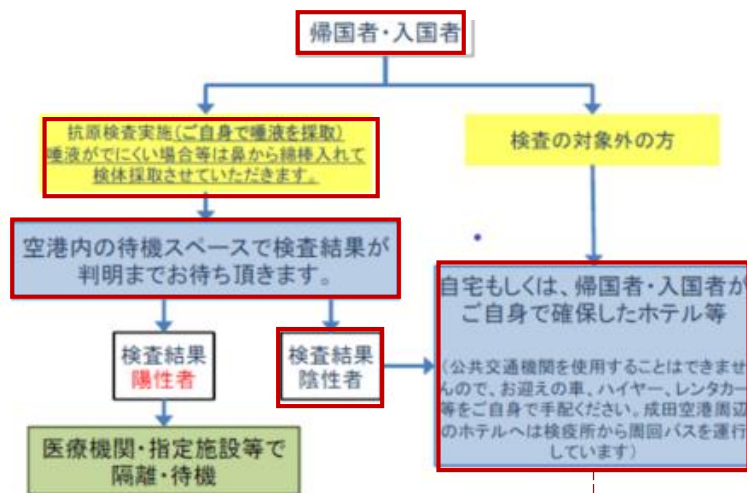
弊社帰国者の自主隔離オプション(原則Op1)

Op1:

弊社手配のバスで勤務地まで移動後、
自宅あるいは弊社手配のアパートで自主隔離
(本報告は、Op1選択かつアパート使用)

Op2:

やむを得ずバスの日程に合わない場合、
空港近辺で一泊して休んだのち、
本人(弊社契約代理店)手配・弊社負担のレンタカーで
勤務地まで移動後、自主隔離



本内容については、状況の変化により、予告なく変更されることもあります。

https://www.forth.go.jp/keneki/narita/soumu/pdf/202008_kensa-nagare.pdf
成田空港発表(8月3日付)

トロント出発からのタイムライン

現地時間(カナダ／日本)

| | |
|------------------|--|
| 10月9日(金)10:00 | トロントピアソン空港着 |
| 10月9日(金)14:05 | トロントピアソン空港発 - エアカナダAC21 日本直行便 |
| 10月10日(土)15:35頃 | 成田空港着 - 予定は16時15分頃 |
| 10月10日(土)16:10頃～ | 抗原検査待機開始(約40分) |
| 10月10日(土)16:50頃～ | 抗原検査開始(すぐ終了)、結果待機(約60分) |
| 10月10日(土)17:50頃 | 抗原検査結果告知(すぐ終了)、荷物受け取り／入国手続き(すぐ終了) |
| 10月10日(土)19:15 | 検疫所によるシャトルバスに搭乗し、翌日の社用バスを待つためのホテルへ移動(1時間半後にホテル着) |

トロントピアソン空港着 (①空港着～荷物検査)

ユニオン駅 10月9日(金)9:30

- ユニオン駅からUP Expressでピアソン空港まで移動。(交通渋滞を避ける目的)
- 乗務員がSocial Distance可能な車両に誘導。乗客がいない車両に着席。
- 飛行機のオンラインチェックインを行い、エアカナダで体調に関する事前問診に回答(写真A)。

空港到着 10:00

- 1時間で空港に到着。
- 全身を消毒できる機械(写真B)があった。コロナ感染予防の看板や消毒液が各所に設置。
- 国際線はほぼ搭乗客がおらず、利用したエアカナダAC21のビジネスクラスのチェックインカウンター(写真C)、ラウンジもひと気なし。エコノミークラスのカウンターも数名が並ぶのみ。待ち時間なし。
- チェックインプロセス自体は、コロナ前と変わらず。

荷物検査 12:20

- チケットと額の体温チェック後、レーンを指示されて荷物検査。待ち時間ほぼなし。(写真D)。

写真A:エアカナダ(AC)事前問診

< Back

Security/Health Questions

Please answer the following questions on behalf of your group before proceeding with online check-in. Passengers providing false or misleading information may be liable to a monetary penalty.

No to all

Do you have fever, or cough, or breathing difficulties, or suspect you may have COVID-19? Yes No

Have you been refused transportation by an air carrier in the past 14 days due to a medical reason related to COVID-19? Yes No

Are you currently under mandatory quarantine because of recent travel or subject to a public health order from any public health authority? Yes No

Continue check-in

写真B:全身消毒(任意)



写真C:ACビジネスクラスチェックインカウンター



写真D:手荷物検査
コロナ前と同様に見えるが
距離を取ったレーン構成で
乗客もすいていた



トロントピアソン空港着 (搭乗待ち～機内の様子)

搭乗待ち

- 搭乗券のスクリーニングをする機械前にも、消毒液が設置。
- 国際線のエアカナダの乗り場は乗客が少ないが(写真E)、免税店、スターバックス等の飲食店の一部、両替所は営業。ブランド品店やカナダ土産店は数軒のみ営業。
- 両替所は、日本円の準備に時間がかかったが、通常通りの営業とのこと。
- 搭乗エリアでも、手用の消毒液が頻繁に設置され、飲食店もテーブル等の消毒を続けていた。

搭乗 14:05

- 遅れなく離陸。機内はマスク必須。ビジネスクラス1名(写真F)、エコノミー19名搭乗。
- CAが代わる代わる説明をしに来てくれ、安全面での緊張感が緩和。
- CA全員は防護服／マスク／手袋を着用しており、離陸すぐに、水／消毒液／マスク／消毒用ウェットティッシュ／手袋等のセットとアメニティが配られた。特に、手袋が丈夫。(写真G)
- 離陸1時間弱で夕食(写真H)。「ビジネスクラスらしくなく不本意」とCAによるコメント有。
- 7時間後に夜食。到着2時間前に朝食。
- 検疫用書類2枚が配布され、到着までに記載要(写真I、写真J)。
- Wifi が使えず、CAとともに苦心したが結局フライト中一度も使用できず。理由不明。

写真E:搭乗口近辺の飲食店



写真F:ACビジネスクラス 乗客1名のみ



写真G: (左)水、消毒液等 (右)コロナ前と同じアメニティ



写真H:夕食(ビジネスクラス)



写真I : 検疫所書類① 滞在国や症状の申請

真向票 2020-07-24 NP3F-PF

このカードは、到着の早期発見や追跡調査に使用しますので、正確に記入してください。
 入国しない方が個人情報は、検疫所等に提供される場合がありますが、検疫所等から連絡があることがあります。

過去14日以内に、下記の流行地域に滞在していましたか？

Y はい N いいえ

氏名: [Redacted]

性別: [Redacted]

国籍: [Redacted]

滞在期間: 10月10日

日本での住所、連絡先: [Redacted]

日本滞在中に連絡可能な携帯電話番号: [Redacted]

日本出国予定日: [Redacted]

出国空港名: [Redacted]

検疫所記入欄: [Redacted]

厚生労働省・検疫所

写真J : 検疫所書類② 自主隔離方法と隔離機関の申請

真向票 2020-07-24 NP3F-PF

入国される方へ検疫所よりお知らせ

1. 到着 14 日以内に新型コロナウイルス感染症が特に流行している地域
 (申請書の表参照) から日本に入国する方へ

(1) 特に流行している地域から来たとき、お持ちの検査書にお申し出ください。
 (2) 入国した次の日から起算して 14 日間は指定された場所等で待機していただき、
 ①-③のように行動してください。
 (3) 検査書にアップとして、保健所などからご連絡をさせていただきます。

2. それ以外の地域から入国する方へ

入国した次の日から起算して 14 日間は指定された場所等で待機していただき、
 ①-③のように行動してください。
 ④ 指定された場所から 14 日間外出せず、入国の検疫所を可能な限り控えてください。
 ⑤ 公共交通機関を使用しないでください。
 (不特定多数が利用する電車、バス、タクシー、国内線の飛行機など)
 日本人で以下の条件に該当していただく。

| | |
|---------------|----------------------|
| 【滞在期間】 | 【検疫所】 都: 白色, 市: 赤, 区 |
| 10/11 - 10/25 | 倉敷市東297-1-1 |
| 【滞在期間】 | 【検疫所】 |

健康状態を毎日チェック

- 体調不良を毎日行い、発熱の有無を確認してください。
- 重症化の兆候や呼吸が苦しくなるなどの症状の有無を確認してください。
 (発症などの健康状態にも注意を払ってください)

検疫所等からの症状が出たら

- マスクを着用して他者に感染させないように注意してください。
- 事前にご相談者・接触者相談センターに電話連絡し滞在している地域を伝え、指定された検疫所等に待機してください。

ご滞在の自衛で対応ことになる方へ

- ご滞在中に手洗いを行ってください。
- 十分な睡眠が睡眠をとるようにしてください。
- ご滞在などで体調が悪い方が発生した場合、両側の方もマスクを装着し、接触する方を避けてください。

新型コロナウイルス感染症に関することをご不明な場合は、以下の電話番号にご相談ください。
 厚生労働省電話番号: 0120-865653

相談者・接触者相談センターはこちらで探せます → [QRコード]

外国語で対応ができる医療機関はこちらで探せます → [QRコード]

厚生労働省・検疫所

【特に流行している地域】

| | 特に流行している地域 |
|-------|--|
| アジア | インド、インドネシア、シンガポール、タイ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、モルディブ、韓国、台湾、中国（香港、マカオ含む） |
| ヨーロッパ | アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、オランダ、イタリ、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、キプロス、キルギス、キルギス、クロアチア、コソボ、カンボジア、ジョージア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ブルガリア、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、ウクライナ、リトアニア、立陶宛、リベリア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア、米国 |
| 中東 | アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、レバノン |
| アフリカ | アルジェリア、エジプト、エスワティニ、ガーナ、カーボベルデ、コボ、カメルーン、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コモロ、コートジボワール、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、シエラレオネ、リビア、スーダン、セネガル、ソマリア、ナミビア、ボツワナ、マダガスカル、モーリタニア、モーリタニア、モロッコ、リビア、リベリア、赤道ギニア、中央アフリカ、南アフリカ |
| 北米 | アメリカ合衆国、カナダ |
| 中南米 | アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グatemala、コスタリカ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、セントクリストファー・ネイビス、ドミニカ共和国、ドミニカ国、セントビンセント及びグレナディーン諸島、トリニダード・トバゴ、ハイチ、パナマ、パラグアイ、パラグアイ、ブラジル、ペルー、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ |
| 大洋州 | オーストラリア、ニュージーランド |

(注) 出入国管理及び難民認定法における入国制限対象地域

成田空港着（到着後～抗原検査待機）

到着 10月10日(土)15:35～

- 予定より20分ほど早く、成田に到着。
- 降機場所に係員が数名待機。(写真K)
フライトごとに検疫の実施を確実にを行うため、係員が検査会場等とランシーバーで連携。
- 降機の許可まで機内から出ることができず、エアカナダのCA、乗客ともに機内で30分弱待機。
- 国際線乗り継ぎ4名、国内線ビジネスクラス1名、国内線エコノミークラス15名の順番で降機。

移動・抗原検査待機 16:10～

- 係員に誘導され、降機場所から徒歩2分ほど離れた、椅子の並んだ待機場所(通路)へ移動(写真L)。
- 帰国者の移動が係員にフライトごとに完全に管理され、人が密にならない工夫がされていた。
- 機内で記載した書類確認まで40分ほど待機。唾液検査のため、30分前から飲食禁止。
ただし、その案内が1か所しかなく周知は不十分。
- Wifiや電話の使用は可能。
- 待機することが求められ、飲み物を買いに行くなどはできない。
- 待機場所では、椅子が足りない、モンゴルからの船員など日本語がわからないグループが動線を間違えるなど、一部、混乱。

成田空港内（抗原検査開始～結果待機）

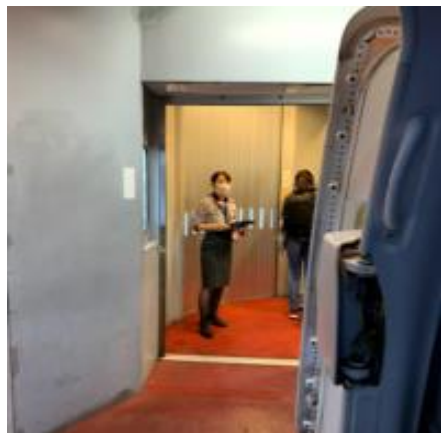
抗原検査 16:50～

- 検査場に移動した後は、待ち時間はほぼなく、検疫関連書類を再度見せた後、唾液を入れる小さな蓋つきの漏斗様のものを受け取り、指示された個別ブースに入った(写真M)
- ブースで梅干しやレモンの絵を見て唾液を採取後、係員に量の確認を受け、終了。5分ほどで完了。
- 検査中の撮影は禁止。
- 結果待機用の場所へ移動。看板のみで係員がおらず、外国から来た方が迷子になっていた。

書類提出・結果待機 16:55～

- 1分ほどで椅子の並んだ待機場所(写真N)に到着し、カウンターで検疫関連書類を提出。
- 結果発表の順番を示す番号を受領。
- 厚生労働省からのLINEの登録も依頼された。
- ディスタンスをとって設置された椅子に座り、40分ほど待機。
- その場に待機することが求められ、飲み物を買に行くなどはできず、飛行機で配られた水を飲んだ。
- Wifiの使用は可能。
- 待機場所での電話はOKだが、放送による呼び出しが聞き取りにくくなるため、極力避けたい。
- 待機中にLINE登録。(写真O) ※発熱の有無(37.5度以上)、症状の確認、健康確認メッセージ

写真K:誘導用係員が待機



写真L:抗原検査待機場所



写真O:厚生労働省のLINE



写真M:抗原検査場(当日全検査終了後)



写真N:検査結果待機場所(当日全検査ほぼ終了後)



成田空港内（検査結果告知～入国手続き）

検査結果告知 17:50～

- 待機スペースの後方から出るとすぐ告知場所。
- 小さなデスクにいる係員に番号を伝えると、その背後にある衝立の後ろに誘導され、結果告知。
- 待ち時間は2、3分ほど。
- 撮影禁止。
- 感染していた場合に顔がわからないよう、周りからは結果告知の様子が見えない。
- 告知時に、検疫所発行の「コロナウィルス検査結果用紙」（写真P）を受領。
- （陰性の場合）来た道に戻り、誘導なく手探りで荷物受け取り場まで移動。

荷物受取～入国手続き 18:10～

- 通常の荷物受取に続き、入国手続（機械認証、入国スタンプ、「コロナウィルス検査結果用紙」提示）、別送品申告書へのスタンプ受領。係員による誘導等なし。待ち時間なく、スムーズ。

翌日の社用バスを待つホテルへの移動

ホテルへの移動(検疫所によるシャトルバス) 19:15～

- 宿泊予定のホテルに、成田では検疫所による帰国者用シャトルバスでホテルに移動すると聞いたが、肝心の乗車場所をホテルが把握しておらず、空港のインフォメーションデスクで確認。
- 帰国者の滞在場所特定を防止する目的か、「入国者用バス」(写真Q)などと婉曲的な表現の場所案内、通行者から見えない乗車場所(写真R)などにより、たどり着くのに苦労。
- 1時間に1便、9時15分から23時15分の間で運行。
- 陰性を示す「コロナウィルス検査結果用紙」(写真P)があれば、ホテルまで無料で乗車可能。
- 乗車時に手の消毒液の設置なく、着席後、持参した消毒液を使用。
- 間を開けて乗客が座った状態で、満席。

ホテル 20:00～

- 成田のホテルに1時間半ほどで移動。
- 個別チェックイン時に、レストランやコンビニを積極的に案内された。両方とも密。
- 帰国者が隔離前に乗ってはいけない公共交通機関の利用も、念のためとして案内されて困惑。
- 小さなエレベーターで上限4名利用可となっており、密。
- 設置された共有PCを借りた際、消毒グッズの設置なく、持参した消毒用ウェットティッシュを使用。

写真P :コロナウィルス検査結果用紙(陰性)



写真R :シャトルバス乗り場(北の外れに設置)



写真S :シャトルバス内



写真Q :シャトルバス乗り場案内



所感

日本では、トロントと比較すると感染予防対策が緩やかな面があり、帰国者本人の、自他への感染拡大を防止する自助努力が必須と感じた。

ートロントの空港や機内は、動線に沿った消毒液の設置、添乗員や空港職員の声掛け、少ない空港利用者や搭乗人数から、安心して移動ができた。
フライト決定においては、搭乗の少ない便や利用客の少ない時間帯の確認が必須と感じた。

ー日本の空港は、時間がかかるPCR検査をやめ、職員の案内や待機スペースでの感染予防等も工夫。ただ、構内移動の際に、様々な国からの空港利用者がディスタンスなく入り乱れている場面や、消毒液の少なさに、不安を感じた。
自ら周囲とのディスタンスを保つことが必要で、消毒液等の消毒グッズは日本でも必携と感じた。

ー宿泊したホテルは、帰国者に対する運用が観光客と混ざっており、感染防止の観点でリスクを感じた。
ホテルを利用する場合には、コロナ対策内容の事前確認も必要と感じた。
(※改善要請予定であり、本報告においてはホテル名は秘匿)